

JIPAシンポジウム パネルディスカッション

経営環境変化に応じた取組と 経営層とのインターリレーション

2010.3.2

内田・鮫島法律事務所

弁護士・弁理士 鮫島正洋

セッション趣旨

「経営環境変化」に応じた取組と経営層とのインターリレーション

- 「経営環境変化」として考えれば2008年来のリーマンショックが代表的だが、むしろ、これを知財との関係で「知財環境変化」として捉え、
- 「知財環境変化」とは、2000年以降のアジア勢の攻勢、2002年の「知財立国宣言」、知財協主導による「経営に資する知財活動」、世界法制や特許性基準の変遷などをいうとすると、
- 企業の中で知財部の位置づけが、「特許権の量産部隊」から「知財戦略立案部隊」(戦略部門としての知財部)へと変わってきたように感じる中で(鮫島私見)、
- 各企業が①知財部を社内でどのように位置づけ、②具体的な施策として何に対して取り組み、③それをどのように経営陣に対してアピールしてきたか。 + ④それに対応する人材の育成方法は？

パネリスト様のご紹介

- ◆ (株)本田技術研究所・猪之詰 毅様
(企画室第1ブロック 特許技術Gマネージャ)
- ◆ DIC(株)・河野 通洋様
(知的財産部長)
- ◆ 日本発条(株)・高瀬 広文様
(研究開発本部・知的財産部長)
- ◆ パナソニック電工(株)・横山 勝様
(知的財産部長)



それではお楽しみください！
M.Samejima